



## 一年間のまとめ

校長 内田 辰彦

今教室からは、6年生を送る会に向けて練習する歌声や合奏の音が聞こえてきます。1年生から5年生が6年生に向けて歌う「ひろい世界へ」はどの学級でも練習しているので、朝の会や帰りの会でも歌っています。「僕らの前にはドアがある いろんなドアがいつもある…」という歌声がいつも聞こえてきています。

6年生を送る会は、在校生は6年生に感謝の気持ちを込めて卒業を祝い、よりよい二小を引き継いでいく気持ちが育つことをねらいにしています。6年生は、在校生に感謝とお別れの気持ちを伝え、卒業・進学にむけての決意をもつことと、小学校生活のよい思い出をつくることをねらいとしています。つまり6年生を送る会は子供たちがつくる卒業式という意味をもっています。ねらいに沿った活動を通して、心のこもった6年生を送る会ができるといいなと思います。

この時期は、各学年とも「1年間のまとめ」をいろいろな場面でしています。各教科の中では、この1年間で身に付けた知識や技能、学び方を活用した学習を行っています。例えば音楽では、合奏曲の各パートの演奏の仕方を自分たちで工夫して、自分たちで解釈した曲想に合った音色になるように考えて練習しています。例えば社会科では、学習したことを基に、社会の一員として、異なる文化や習慣を持つ世界の人々と共に生きるために大切なことについて、自分たちにできることを考えています。

特別活動では、学級での係活動や当番活動を振り返ったり、委員会やクラブの活動を振り返ったりして、やり通したこと、できるようになったことなどの成長を確認します。そして、その振り返りを一人一人のキャリアパスポートに記録していく中で、この1年間の成長を自分自身で認められるようにします。

2年生の教室前の廊下に、一人一人の1年間でできるようになったことが掲示してありました。勉強や学校生活の中でできるようになったことがたくさん記されていました。例えば九九ができるようになった、逆上がりができるようになった、漢字をたくさん覚えたなどが書かれていました。その他にも家庭や習い事でできるようになったこともたくさん記されていました。お料理ができるようになった、洗濯物をたためるようになった、野球でホームランを打てた、なども書かれていました。2年生だけでなく、どの子もみんなたくさん成長できたと思います。今週行われる保護者会の中で、学校と保護者の方で一人一人の成長について共有していきたいと考えています。

「ひろい世界へ」の歌詞の続きは、「ドアを大きく あけはなそう ひろい世界へ でていこう」となっています。在校生はこの1年間の成長をもとにして、6年生は更に6年間の成長を糧にして、また1歩先の新たな成長に向けてすすんでいくことを願っています。



中央玄関前に飾っている雛人形